

【研究名】 阻害型抗TSH受容体抗体陽性患者の予後調査

【研究の実施体制】

この研究は伊藤病院における単施設での研究です。

1. 研究責任者：伊藤病院・学術顧問 吉村 弘
2. 研究分担者：伊藤病院・内科 廣瀬 玲

【概要】

阻害型抗 TSH 受容体抗体（TSBAb）は甲状腺機能低下症の原因としてよく知られていますが、診療においては TSBAb 陽性症例の甲状腺機能低下症が持続しないことも経験します。また、バセドウ病の薬物療法中に TSBAb 陽性が判明することがありますが、そのような症例における甲状腺機能の予後は様々です。そこで、本研究では、これら TSBAb 陽性症例の予後を後方視的に調査するとともに、予後の違いに影響する因子を抽出することを目的とします。

【研究対象】

- 1) 2005年1月から2024年8月までの期間にTSBAb陽性が判明した患者のうち、甲状腺機能低下症の診断後1年以内にTSBAb陽性が判明した症例
- 2) 2005年1月から2024年8月までの期間にTSBAb陽性が判明した患者のうち、バセドウ病薬物療法中の甲状腺機能低下症を契機にTSBAb陽性が判明した症例
- 3) 2005年1月から2024年8月までの期間にTSBAb陽性が判明した患者のうち、陽性時に甲状腺機能異常がなかった症例

【方法】

- 1) 解析期間：
2025 年 1 月より約 1 年
- 2) 解析方法：
 - ①後方視的検討
 - ②伊藤病院データベースより上記研究対象症例の臨床データを抽出し解析する。
- 3) 統計処理
解析ソフト JMP を用いる。

【予想される不利益及び利益】

既存の試料および情報を用いるため、対象となった患者様にリスクはないと考えられます。本研究による利益は現時点では明らかではありません。今後、研究がすすむことによって病態が解明されると、同じ病気の患者様に将来的に利益となる可能性があります。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

試料および情報がこの研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記へお問合せください。研究に協力されない場合も患者様に不利益が生じることはありません。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

【費用について】

本研究の実施にあたり患者様への費用が生じることはありません。また特定の企業との利害関係はなく、本研究の実施もしくは成果に企業が影響を及ぼすことはありません。

【連絡先】

伊藤病院 内科 廣瀬 玲、吉村 弘

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前 4 丁目 3 番 6 号

電話 03-3402-7411